

臨港道路の整備によって 輸送時間の短縮と市街地の交通量削減を実現

よこはま
file02 **横浜港**

対象施設 本牧大黒地区臨港道路 (横浜ベイブリッジ一般部及び本牧・大黒臨港道路)
供用 平成16年

横浜市内の約10キロ区間の移動時間が約30分 22分に8分程度短縮された。
横浜市街地を通過していた、コンテナ車両台数が約3500台/日から約2000台/日へ約4割削減された。
逆に横浜ベイブリッジ一般部 (国道357号) の全交通量は約13,000台/日で、うち大型車両の交通量は約6,600台/日、その全交通量に占める割合は約50% (横浜市内の一般道路の平均は約20%)。横浜ベイブリッジ一般部への大型車両の転換が着実に進み、市内の交通渋滞の緩和に寄与している。



●横浜ベイブリッジ一般部の交通状況 (大黒側から本牧方面を望む)



●国道133号 (通称コンテナ通り) の交通量の減少
供用前 (県庁前)



供用後

